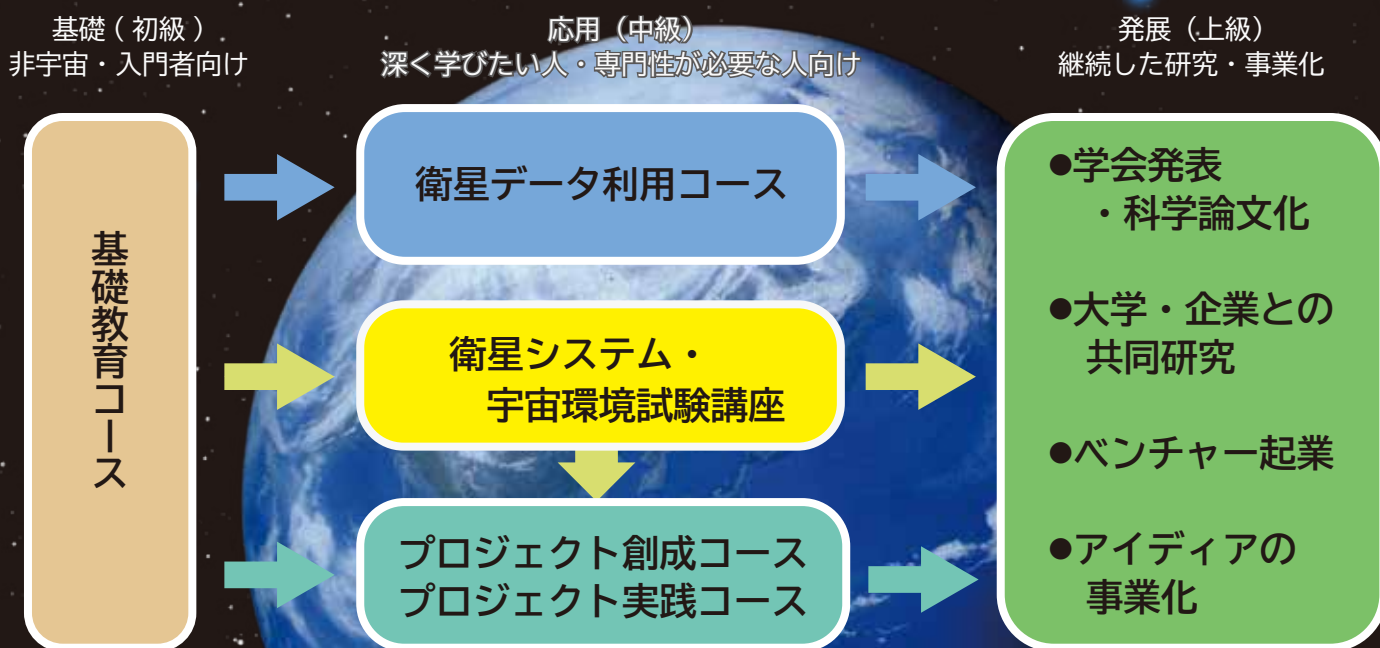


# コース概要

## 【目的】

2030年代以降宇宙市場の増大が見込まれる中、我が国において宇宙分野を担う人材は圧倒的に不足しているのが現状です。宇宙分野の新規参入の障壁を下げるためには、多額のコストがかかる宇宙開発だけでなく、低コストや短納期スケジュールで実現できる成層圏気球・超小型衛星の開発や衛星データの利用などこれまでにない新たな視点で宇宙利用を拡大できる人材が不可欠です。本コースでは今後新たに宇宙に参入される方を対象に基礎知識から衛星データ利用・衛星システムやプロジェクトマネジメントなど網羅的かつ体系的に学べる機会を提供します。

今回は基礎教育コースと衛星データ利用コースの受講生を募集します。今秋以降、衛星システム・宇宙環境試験講座やプロジェクト創成・実践コースを募集予定です。



## 【各コース紹介】

### 基礎教育コース ～期間3か月

宇宙開発・ロケットから人工衛星、リモートセンシング、ビジネス、宇宙法まで宇宙に関する幅広い知識を学べます。

### 衛星データ利用コース ～2か月

衛星データがどのように科学やビジネスに応用されているかを学び、実際に衛星データを解析して科学やビジネスに活用する力を身につけます。

### 衛星システム・宇宙環境試験講座 ～各々3日 2027年から実施予定

座学と小型衛星キットを使った実習により衛星システムについて理解する衛星システム講座と、振動・熱真空・放射線試験の手法について学べる宇宙環境試験講座からなります。

### プロジェクト創成・実践コース ～半年間程度 2027年から実施予定

気球の原理・最新研究や民間利用、プロジェクトマネジメントについて座学で学んだ上で、チームで成層圏ゴム気球を使ったプロジェクトを立案します（創成コース）。提案されたプロジェクトのうち、審査会で選ばれた優秀なプロジェクトは実際の気球実験を行います（実践コース）。これにより立案・設計から開発、実験、解析まで一気通貫したプロジェクトを経験できます。また実験がうまくいかなかった場合の理由を考え、再チャレンジの機会も提供する予定です。